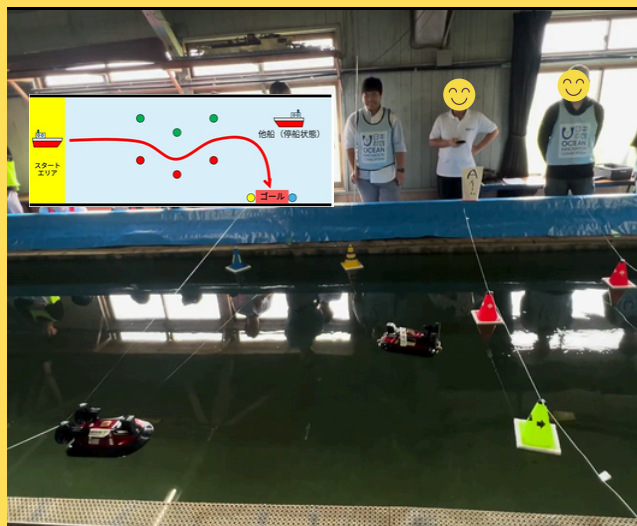


2025年度 自動運航船避航プログラミング コンペティション

2025年10月11日から13日にかけて、大阪公立大学・中百舌鳥キャンパスで開催された「自動運航船避航プログラミングコンペティション」において、本学船舶工学コースの稲垣裕太さんが参加しました。

イベントの目的

日本財団オーシャンイノベーションコンソーシアムは、海洋開発分野の次世代人材育成を目的に、専門講義と実践を組み合わせたセミナーを定期的に開催している。今回の「自動運航船避航プログラミングコンペティション」では、画像認識を活用した障害物回避プログラムの設計と製作に挑戦。3日間で複数のミッションに取り組み、「自動運航船を安全かつ効率的に動かすことができるかを競う実践型セミナー」として位置づけられている（公式サイトより）。



感想など

本コンペティションには、本学以外の学生と交流できることに加え、既に卒業された先輩方から非常に有意義であったと聞いていたので参加しました。また、自動運航技術にも興味があり、専門家の方から実践的に学べる点に魅力を感じました。ホバークラフトを実船に見立て、障害物や他船を回避しながら目標位置に接岸する課題に取り組み、最終日に成果を発表しました。2泊3日という短期間でホバークラフトの挙動や自動制御の理解を深めることには苦労しましたが、作業時間外にはチームを越えて他大学の学生と交流し、作業計画を立てる時間は非常に有意義で楽しいものでした。さらに、画像認識を含む自動制御技術は、自身の研究である潮流下稼動型海中ロボットの開発にも応用できると感じ、分野を越えた技術のつながりと学びの重要性を強く実感しました。

